

同友しずおか 9

2020

VOL.502

私の逸品

青木園芸

技術とノウハウが詰まった
インドアガーデン



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会 3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒420-0857 静岡市駿河区藤原3丁目3番16号 FAX/054-253-7820 E-mail/doyu@szdoyu.gr.jp

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1068 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
すずき かずひろ 鈴木 一弘	足場屋勇仁 足場仮設業	富士宮	望月 知洋
あしざわ れおな 芦沢玲欧奈	(株)アルプスカーモーター 自動車販売・整備 (各種新車・中古車の販売、車検・点検・整備・修理、損害保険代理業、 自動車リース、钣金塗装)	静岡	山本 健二
もり 森 てつや 徹也	静岡和洋紙(株) 紙卸売業 (洋紙・和紙・板紙・特殊紙・封筒・紙製品の販売並びに加工)	静岡	宮田 博文

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症関連支援策等 リンク先一覧

新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰り等でお困りの事業者の方へ

東海財務局HP内にて、県内での国、公的機関、金融機関及び地方公共団体の各支援策に係るリンク先一覧をご覧ください。右のQRコードよりぜひご覧ください。

(出典：東海財務局HP http://tokai.mof.go.jp/sizuoka/zimusyo_link_00001.htm)





技術とノウハウが詰まった インドアガーデン

青木園芸 (静岡支部)

代表 青木 雅一氏



青木 雅一氏

清水で45年以上続く レンタルグリーン

静岡市清水区にある青木園芸は、1973年に青木雅一氏の父が創業しました。青木氏は、創業者である父が15年前に他界した際「この会社をつぶしたくない」と跡を継ぐことを決意。現在、妻・母あわせ3名で、観葉植物のレンタル・メンテナンス・販売をメインに事業を行っています。静岡市内を中心に月に100軒程度レンタルを行っているそうです。

室内で季節感を演出 インドアガーデン

レンタルグリーンには、同じ植物を定期的にメンテナンスするタイプと、定期的に植物を入れ替えるタイプがあります。青



オフィスのレンタルグリーン

木園芸では、後者の交換レンタルが人気です。定期的に違う植物と交換することで、オフィスの雰囲気も変わり、従業員同士のコミュニケーションにも一役買っています。また植物に興味を持ってもらうために、名前や花言葉・特徴などが書かれた「樹種名カード」を付けるといった工夫も行っているそうです。本誌の表紙に掲載されている逸品は、レンタルグリーン業者の技術やノウハウを駆使してつくられた室内のお庭「インドアガーデン」です。インドアガーデンは、施設内に季節やテーマに合わせて様々な植物をアレンジして配置します。イベント等での短期の設置はもちろん、施設内で長期に設置し、季節感を演出することも可能です。

同友会入会と経営指針を創る会 同友会入会のきっかけは、リー

マンシヨックで売上が大きく減少した時期に、同級生の久高洋司氏(株高栄塗装)の紹介で静岡支部例会に参加したことです。翌年には経営指針を創る会を受講。自社の強みや経営の目的について考えるきっかけとなり、自身が成長できたと振り返ります。創る会でできた経営理念はよく見える場所に掲示し、毎朝唱和しているといいます。

【経営理念】

1. 私達は植物の力で癒しと潤いある空間を創り出しお客様に利益と健康に貢献します
2. 私達は感謝の心を忘れずに成長し笑顔と幸せを共有できる職場を創ります
3. 私達は地域の緑化を進め人々が安らぎを感じられる空間を造り続けます

今後の意気込み

長期的な課題は将来の後継者を育てることだと青木氏。そのためにはまず社員を雇い、有望な右腕に育てる必要があります。後継者を育てることは、代わりがきかない自分に何かあったときのリスクヘッジにもなります。社員を雇うための第一歩として売上を上げていく必要があります。青木氏は「デザインや企画力の必要なインドアガーデンのような強みを活かして売上を伸ばし

青木園芸

〒424-0212 静岡市清水区八木間町591
TEL : 054-369-1303
URL : <http://aoki-engei.com/>

創業 1973年
社員数 3名

入会年月 2015年11月

事業内容 レンタルグリーン(観葉植物、プランター、寄せ植え、ハンギング等)、花壇植栽・管理、庭木剪定・管理、花器注文販売、花木注文販売

「ていきたい」と今後の意気込みを語りました。
取材・記事・藤本浩氏
写真・バリエーション(株)静岡支部



自社ハウス内

すまいのぬくもり、
心の温もりの創出をめざして

(有)杉山正五商店
専務取締役 杉山 正英氏 (御殿場支部)



杉山 正英氏

浜松で国内最高41℃を観測し御殿場でも過去にない猛暑を記録した日、7月にオープンしたばかりというモデルハウスで(有)杉山正五商店の杉山正英氏を取材しました。室内に入るなり外が暑かったと思えない居心地、日中は閉め切っていた室内で快適に取材が始められるかという懸念は無用な心配でした。

祖父の理念が原点

(有)杉山正五商店は1965年創業。大正生まれの祖父が、米の卸や雑貨販売などを行いつつ、米の収穫前の閑散期には農家の納屋や住宅の手直しなどお客様の困りごとを解決する中で、建設業にも本格的に関わるようになりました。現在では父方の兄弟で、米の販売・建設業と分かれて経営にあたっています。



モデルハウス

いるとのこと。杉山氏も元々は別の業界を目指していましたが、2009年より父の建設業を手伝うことになったそうです。

異業種で高め合い 得られる価値

杉山氏は2011年5月に御殿場支部の功労者である(有)中村石油根上武久氏の紹介で同友会に入会し、5年目には役員に抜擢され御殿場支部をけん引してきました。役員となり良い仲間と巡り会えたことは何事にも代えがたい貴重な体験だったそうです。会でも先を見据えた発言や、仲間の課題に真摯に向き合う姿で異業種とも交流が深まったと語る杉山氏。さらには同業者や熱心に活動している仲間とは理念を共感しているため連携が図れて良い仕事につながっているそうです。

新たな取組からの転機

杉山氏は、会で学んだことを自社の経営に反映しながら新しい縁を見つけるため住宅見学会を行っています。散々な結果も多いのですが、同友会の役員経験のおかげで厳しい環境でも課題に向き合うことができているそうです。最近ではコロナによって資材不足等に直面し工程に影響が生じたといいます。建設業界は生活の基本である衣食住の「住」に係る仕事であり、生活の必需品と捉えられます。コロナ禍に合わせ、まだ見ぬ脅威に対しても上手く対応していけば需要を取り込めると考えている杉山氏。コロナ禍での前向きな取組の結果、来年度以降の施工予約も順調にいただいているそうです。

「これからも、会から学んだことを自社の経営に反映しながら、先輩会員や仲間からの教えを次世代に



モデルハウス内観

引き継いで取組んでいきたい」という言葉から今後のさらなる活躍への期待を感じました。



取材風景

(有)杉山正五商店

〒412-0045 御殿場市川島田319
TEL : 0550-83-5185
URL : <https://www.sho5.com/>

創業 1965年
社員数 2名
入会年月 2011年5月
事業内容 建設業・不動産業

取材：岡村 武典氏
(合同会社岡村商店・御殿場支部)
取材：勝又 茂生氏
(株)勝又製茶・御殿場支部
取材：原田 慶太郎氏
(株)富士管材機器・御殿場支部
撮影：片野 貴一郎氏
(株)モスク・クリエイション・御殿場支部



井上斉・静岡同友会代表理事（左）、平井敏雄・三島信用金庫理事長（右）

中小企業等支援に関する包括連携協定を三島信用金庫と締結 金融機関として県内3番目、東部地域では初



調印式の様子

静岡同友会は、金融機関3例目となる包括連携協定を9月1日、三島信用金庫と取り交わし、締結しました。当日は三島信用金庫から平井敏雄理事長をはじめ3名、同友会からは井上斉代表理事をはじめ3名が出席し、調印式が行われました。

本協定は中小企業が抱える経営上の各種課題の解決と地域の中小企業の発展を支援することで、地域経済を活性化させることを目的としています。目的の達成に向けて、(1)中小企業等への情報提供、(2)相互の研修等への参加、講師派遣、(3)地域における経済情報、動向等に関する情報交換、(4)個別企業からの相談対応、(5)その他中小企業

への支援に寄与する事項、の5点を掲げています。

平井理事長からは「地域を元気にすることを第一の目的としている。今後もこれまで以上に手を携え難局を突破していきたい」とお話をいただきました。

閉式後には意見交換が行われました。同友会と信用金庫それぞれの地域における役割や経営指針成文化の重要性が共有され、協定に基づいた更なる協力と地域活性化の実現にむけた話し合いとなりました。

三島信用金庫は2017年4月に高嶋正芳常務理事が同友会に入会（沼津支部）。2018年の全県経営フォーラムの第1分科会ではパネリストとしてご登壇いただきました。2020年7月からは今泉清司常勤理事が会員として所属しています。

これまで静岡同友会は、教育機関では2008年の国立大学法人静岡大学と「相互協力協定」を、また金融機関では2019年3月に当時の島田信用金庫（現島田掛川信用金庫）と、2020年7月に静岡信用金庫と「中小企業等支援に関する包括連携協定」を締結し、県内3番目、東部地域では初めての協定締結となりました。

三島信用金庫からの出席者

- ・ 平井敏雄理事長
- ・ 高嶋正芳常務理事
- ・ 今泉清司常勤理事

静岡同友会からの出席者

- ・ 井上斉代表理事
- ・ 桑崎雅人副代表理事
- ・ 高木基副代表理事

行政と中小企業が連携し、

コロナ禍を乗り越え地域の発展を目指す

静岡県経済産業部との

意見交換会をオンラインで開催

8月27日(木)

静岡県からは天野朗彦経済産業部長、就業支援局長、商工業局長ら9名、同友会からは遠藤一秀会長、井上斉代表理事、山本義彦顧問ら13名が出席しました。

意見交換では静岡県から同友会の政策要望に関する回答を頂きました。特にウイズコロナ期における企業と地域の存続に関して、県の資金繰り・雇用維持・事業再開などの支援施策に触れながら、新型コロナウイルス感染症と経済活動の両立を目指す中長期での構想を報告頂きました。デジタル技術導入への支援強化、テレワーク設備助成の拡大、医療産業進出への支援など付加価値の高い産業構造の転換へと繋げていく経済政策を説明頂きました。

地域経済の回復には、企業・行政が共に社会構造の変化に適応し、連携することが重要と確認しあう機会となりました。参加者を代表して政策委員長の今野英明氏の感想を紹介いたします。



〈参加者感想〉

今回の意見交換会で

は、行政と金融機関が連携し中小企業を潰さない資本支援の継続、個人消費の促進や非接触・遠隔型社会への対応支援など県経済政策の方向性が示されました。私は、社会構造・産業構造が変化する「時代の過渡期」を迎えていると改めて感じました。当社は塗装を生業とする「非接触・遠隔」が苦手な製造業です。しかし、苦手だからと変化を諦めると時代に取り残されると考えています。意見交換会は、非接触・遠隔をバランスよく取り入れることの重要性を再確認する機会となりました。

今野英明氏(光誠工業㈱、県政策委員長)

〈ご参加頂いた静岡県経済産業部の皆様(敬称略)〉

経済産業部長	天野 朗彦
就業支援局長	渡辺 加絵
商工業局長	杉山 俊博
健康福祉部 政策管理局 健康福祉政策課長	青山 秀徳
政策管理局 産業政策課長	齊藤 卓己
商工業局 経営支援課長	影山 敦彦
商工業局 地域産業課長兼商業まちづくり室長	山下 啓道
地域産業課 班長	長谷川美雪
地域産業課 主査	望月 晃子

〈ご参加頂いた静岡大学の皆様(敬称略)〉

静岡大学 名誉教授/静岡同友会顧問	山本 義彦
静岡大学学術院 人文社会科学領域准教授	太田 隆之

「地域のために今必要なことは増強運動」

8月20日に組織強化・会員増強全国交流会がZOOMで開催されました。全国から334名、静岡からは井上斉代表理事をはじめ4名が参加。各地同友会の会員増強の取り組みが共有されました。参加した宇佐美健介・県組織増強副委員長の感想とメッセージを紹介します。

積極的なデジタル化でピンチを

チャンスに変える東京同友会の取り組み



東京同友会の取り組みは積極的なデジタル対応で、ZOOM例会をより効果的に活用したポイントが沢山ありました。

厳しい時代だからこそ「学び続ける同友会」は、経営課題に直面した経営者には特に魅力的です。例会におけるSNSなどを活用した積極的な案内とゲストに合わせたフォロー体制の確立をはじめ「危機突破のために同友会においてよ」と題した24時間体制のサポート、「コロナ対策読本」をQRコードで紹介するなど、同友会の価値を高める工夫をしています。また、7月7日の「中小企業家同友会ZOOM展示会 ビジネスSAVE」には70社が出席。延べ420名が来場し仕事の契約が相次ぐなど、情報が資源となるバーチャル空間を

舞台とした新しい同友会運動にもチャレンジしていました。

組織増強副委員長として

会員の皆さんへメッセージ

コロナの影響は我々中小企業に大きなダメージを与え我々の行く手を塞いでおり、多くの中小企業経営者は大きな経営課題を抱えています。今こそまさに同友会での学びを通して共に地域を支える企業に成長できるチャンスです。同友会の増強活動は我々ができる「最大の地域貢献」です。多くの参加者で学びを共有し、色々な角度から物事を捉えて考える。そこから生まれる新しい発想やアイデアが我々を救うのです。その為には、多くの頭脳を持つ多種多様な中小企業経営者が真剣に学びを深める場所が必要です。我々自身の為に、そして地域の為に今必要なことは、目先のことではなく「増強運動」なのです。

宇佐美 健介氏

(有)エージェンツうさみ・県組織増強副委員長

1名の入会につながる

8月イントロセミナー

8月28日(金)に同友会会議室とZOOM併用にてイントロセミナーを開催。5支部より会場11名、ZOOM12名の23名が参加、オブザーバーも2名参加しました。松下恵美子氏(三協紙業(株)・静岡支部)より自社のあゆみと同友会との関わりについて報告。紙の流通量減少に危機感を抱いている松下氏は同友会の経営指針を創る会で経営理念を作成。「70年続いた社員やお客様とのつながりを大切に」という会員の言葉から気づきを得て経営者として少しずつ変わっていききました。また静岡支部の政策委員長を経験したことで「地域」とのつながりを意識するようになったと話しました。グループ討論ではお互いの経営課題に真摯に向きあい、時代が変化していく中で自社は何を守り、何を变えていくべきか話しあいました。オブザーバー1名よりその場で入会の申込みを頂き、共に学びあう新たな仲間が増えたイントロセミナーとなりました。



9月のイントロセミナーは9月25日(金)に開催します！引き続きZOOMでの参加も可能です。ぜひ、オブザーバーと一緒にご参加ください！

障がい者雇用をもっと身近に

障がい者問題委員会 関係機関との意見交換会



特別支援学校や障がい者支援機関などの関係機関と会員で障がいへの理解を深めあうことを目的に毎年開催

している意見交換会。例年東・中・西部に分かれて開催していますが、今年度はコロナの現状を踏まえ8月4日(火)にZOOMで開催、全県から参加者が集いました。

(原田昌樹・県障がい者問題委員長より感想)

テーマは「今だからこそ語ろう！障がい者雇用のメリット・デメリット」。まず西銘亮貴氏(株富士山ドリームビレッジ・富士宮支部)より障がい者雇用に関わる制度や支援策について紹介。続いて障がい者雇用をしている金澤仁氏(株金沢紙工・静岡支部)の実践報告では「障がい者も健常者も美しい製品をつくりたいという想いは同じ。社員1人ひとりが助けあいの手を差し伸べ協力しあうことで会社として大きな力を発揮できる」と伝えました。その後ZOOMで

金澤氏の会社を見学、障がい者の社員が生き生きと働く様子を見る

ことができた。グループ討論では、障がい者の実習先や就職先が減っているなどの課題を今後どのように



金澤 仁氏

一度の意見交換会で納得できる答えを見つめることは難しく、年内に2回目を開催し、課題への取り組みを継続して話し合い

たいと考えています。そしてコロナ禍で厳しい状況ですが、委員会でもさらに障がい者理解・雇用を進める活動を展開し、少しずつ前進していきたいと考えています。

原田 昌樹氏

(株)アレミティ・県障がい者問題委員長

討論を深める力を学ぶ

例会企画委員会 グループ長研修



8月19日(水)毎年行っている県例会企画委員会主催のグループ長研修をZOOMで開催しました。沼津例会

を兼ねて行い、沼津支部会員をはじめ各支部から34名が参加しました。

(宮田博文・県例会企画委員長より感想)

青山達弘氏(株青山建材工業・静岡支部)より「コロナ禍の今、経営者としてなすべきこと」をテーマにした報告、稲原研氏(松屋電気商会・富士宮支部)よりグループ長研修があった後、3つのバズテーマで各20分計60分のバズセッションを行いました。各グループにフォロワー役の会員が付き、グループ長に慣れていない会員はベテラン会員の振る舞いからもバズセッションの進捗を学びました。多くの会員が、20分という短い時間の中で話を深掘りしていく難しさを感じたバズセッションとなりました。

本グループ長研修を通して、例会のバズセッションでのグループ長の重要性が実感できたのではないかと感じました。1回の研修だけでグループ長としての腕が劇的に上がることはなく、例会等で積極的にグループ長を引き受け、経験を重ねることが必要だと感じました。質問する力・聞く力を身につけ討論の本質を深めていくという力は何時でも必要でなく、経営者にとって課題を見つけて解決していく上で必要な力だと思います。今年度はあと2回グループ長研修を予定しております。ぜひ積極的に参加してスキルを磨いてください。

宮田 博文氏(南ミヤタ印刷・県例会企画委員長)



◆ 静岡県中小企業家同友会会費 口座振替のお知らせ ◆

口座振替日／令和2年10月6日（火）
 振替会費／令和2年度下期会費
 （令和2年10月～令和3年3月）
 振替額／既定の通り

左記の通り、会費をご指定の口座から振替させていただきますので、ご確認をお願い致します。
 なお、領収については、通帳への記帳をもって代えさせていただきます。
 納入代行会社は「SMBCファイナンスサービス(株)」、通帳印字は「SMBC(ドウユウカイ)」名で引き落としされますのでご注意ください。

9月・10月

DOYU CALENDAR

9月16日(水)～10月15日(木)

9月 16日(水)	伊東例会 (19:00 伊東市健康福祉センター&ZOOM) 沼津例会 (19:00 ZOOM) 志太例会 (18:30 藤枝文化センター)
17日(木)～ 18日(金)	第48回青年経営者全国交流会 (15:00 ZOOM)
17日(木)	中遠例会 (19:00 ZOOM) 浜松例会 (19:00 クリエイト浜松&ZOOM)
18日(金)	県障がい者問題委員会 (18:00 ZOOM) 2025ビジョンプロジェクト (17:30 事務局&ZOOM)
23日(水)	県理事会 (15:00 事務局&ZOOM) 県例会企画委員会 (18:00 ZOOM)
24日(木)	榛南例会 (19:00 ZOOM)
25日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」 (19:00 事務局&ZOOM)
28日(月)	三島例会 (19:00 ZOOM)
29日(火)	第17期経営指針を創る会 第5講 (19:00 ZOOM)

10月 6日(火)	若手社員フォローアップ研修 (9:30 もくせい会館) 総務財務委員会 (16:00 事務局&ZOOM)
7日(水)	正副代表理事会 (15:00 事務局&ZOOM)
9日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川&ZOOM)
13日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM (予定))
14日(水)	御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア &ZOOM)
15日(木)	富士例会 (19:00 ロゼシアター) 榛南例会 (19:00 未定) 中遠例会 (19:00 ZOOM) 浜松例会 (19:00 未定)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

ZOOMや動画を活用した新たな例会を紹介！

【富士宮支部8月例会】

ZOOM・会場2ヶ所の3拠点をつなぎ、リアルとオンラインの壁を越えて学びあう

8月7日（金）に開催した富士宮支部特別例会では、ZOOM・支部設営会場（志ほ川バイパス店）・静岡サテライト会場（ペガサート）の3拠点をつなぎ開催。総勢72名（うち他支部19名・他県3名）が参加しました。講演ではお茶の包装資材の企画・製造・販売を行う(株)吉村の橋本久美子氏（東京同友会）がコロナ禍での自社実践を報告。アンケート機能を使いながらの報告はZOOMならではの、全員参加型のリアルとオンラインの壁を越えた例会となりました。



橋本 久美子氏

【御殿場支部・中遠支部8月例会】

YouTube動画「わが経営を語る！静岡社長TV」を例会で活用、バズセッションでさらに深め合う

8月の御殿場支部と中遠支部例会では、静岡同友会公式YouTubeチャンネル「我が経営を語る！静岡社長TV」の動画を視聴。御殿場支部では箕成頼氏（(株)アサギリ）と増田崇氏（(有)リアス）、中遠支部では青山達弘氏（(株)青山建材工業）の内容についてバズセッションを実施。自社と照らし合わせながら今後の経営について深め合いました。

我が経営を語る！
静岡社長TV

YouTubeで経営実践報告を配信中！
 1人で見ても、みんなで見ても **タメになる。**
 自社経営の **ヒントにつながる** 動画がたくさん！